

～みんなのまちを守るため～

「住宅用火災警報器」を設置しましょう



出初式の様子

「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、生業を持つかたわら、昼夜を問わず、私たちの暮らしを守り続けている中野市消防団の皆さん。このコーナーでは、地元を根ざし活動している各分団を紹介していきます。最終回は、中野市消防団について紹介します。

☆中野市消防団
昭和二十九年七月に一町八カ村による旧中野市の誕生と同時に「中野市消防団」が発足。平成十七年には、旧中野市と旧豊田村の合併による新中野市の誕生と共に、旧市村の消防団が統合し、現在に至っています。

☆中野市消防団の体制
現在、団員数は千三百三十一人で、消防団本部(団長、副団長等が所属)と十一の各分団の体制で、市内全域を管轄しています。また、消防団員の業務を補う市内二十九の婦人消防隊・自警団と協力しながら、活動しています。

☆活動内容
災害時の出場はもちろんのこと、火災予防・警戒、風水害の警戒、地域の行事の警備などのほか、年間を通して各種訓練、研修、行事へ参加し、消防・防災に関する知識や技術を習得し、皆さんの生命、財産を守っています。

☆最後に
消防団活動は、地域に暮らす皆さんの理解と協力が必要です。市民一人ひとりが日ごろから地域の安全に関心を持っていただくとともに、引き続き消防団活動へのご理解、ご協力をお願いします。

☆最後に
消防団活動は、地域に暮らす皆さんの理解と協力が必要です。市民一人ひとりが日ごろから地域の安全に関心を持っていただくとともに、引き続き消防団活動へのご理解、ご協力をお願いします。

がんばる消防団のコーナーは今月号をもって終了となります。来月号からは新企画がスタートします。

消防団員募集！～自分たちの地域は自分たちで守りませんか？～

あなたの大切な人、地域を守るため、あなたも入団しませんか？皆さんの入団お待ちしております。

消防団とは、

- ①消防団員は、特別職の地方公務員です。
- ②火災や大規模な災害が発生した時に、住民の皆さんに最も身近で、地域に密着した消防機関として、火災防衛活動に従事します。
- ③地域においては、自主防災組織や住民の皆さんの防火・防災におけるよきリーダー的な立場にあります。

④消防団協力事業所表示制度が発足したことに伴い、表示証交付事業所からの出動も可能になりました。消防団に入団するには、志操堅固で身体強健であれば大歓迎です。(男女問いません)

〒470-0000 市役所消防課消防係 ☎(22)3386

広報クイズ

今月のプレゼント
月の兎キュービー
.....5名

問題
●ひな市は3月11日と4月1日です

クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、日ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。
締め切り 3月17日(水)必着
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

切手
383-8614 中野市三好町一丁目 3番19号
中野市役所 庶務課秘書広報係
住所・氏名・年齢・電話番号

継承 中野が誇る伝統文化

第二十二回 中野弓道会会長 土屋義雄さん

中野弓道会とは
会員は約六十人で練習は週三回。昭和五十八年、中野市弓道場の完成後に始まった弓道教室の二期生だった土屋さんは、後に二代目会長となりました。同会は毎年二月の百射会、五月の無想大師奉賛弓道大会を主催。どちらも五十人前後が参加しています。弓道には、実戦を想定した武射系の日置流、儀礼・儀式的側面を重視した礼射系の小笠原流などさまざまな流派がありますが、双方を取り入れて、現在の全日本弓道連盟となりました。また、大会はスポーツであるのに対し、審査は武道であり、礼に始まり礼に終わります。道場へ入る時の足の入り方、座って立つてから矢を射るまでの動



▲教士六段の土屋さん

作まで厳しく審査されます。的に矢が当たろうが外れようが、常に平然としていなければなりません。精神面における鍛練が求められます。

弓道の魅力とは
「正射必中」、正しく射れば矢は必ず当たります。弓道は自分自身との戦いです。上達すればするほど自分にしかわからないような小さな欠点に気づきますが、なかなか直せません。悩みながら練習を続けることでスランプから抜け出せたときの喜びは絶大です。困難に立ち向かう精神力が鍛えられます。例えるなら、目標とする山頂に登りつめたとき、目の前に見えるさらに高い山に再び挑戦するといった繰り返しです。

皆さんへのメッセージ
中野市の弓道人口は、他のスポーツに比べて多いとは言えません。知名度も低いので、一人でも多く親しんでいただくためには、子どもたちの育成が急務であると考えています。中学生対象の弓道教室を五月から募集する予定です。初の取り組みとなりますが、とにかくやってみることが大切だと思います。

市民リレーインタビュー キャッチボール

No.30

上野 友理さんから紹介された



松島 太地 さん
(自営業・栗林)

①自己紹介
一昨年8月から自動車整備士として実家の工場を任されています。週3回、バスケのクラブチームで練習しています。

②今後チャレンジしたいこと
1日5回、他人から感謝されるように、意識せず人や環境に気を配り、優しくできるようになりたいと思います。

③これからのまちづくりに望むこと
郵便ポストと同数の募金箱を設置して、募金ですべての公共施設をバリアフリーにしたり、音楽都市として「のど自慢大会」などを実施すれば活気が出ると思います。

医者になりたい



永田小学校 6年
小林 彩乃さん

私の夢は医者。小さい時からあこがれていて、救命医、産婦人科医になりたいです。

救命医はとても大変な職業だけど、一秒を争う患者さんや救うのは、救命医しかできないと思います。そのかわり、なるのには、人よりもたくさん勉強し、努力しなければいけません。そして、判断力も大切にな

っていくるので、身に付けていきたいです。

産婦人科医は、今ほとんど減ってきています。救命医ももともと少ないですが、といけないと思います。それに負けていけば遠くの夢になつてしまいます。

これからは、楽しい事だけでなく、大変な事や苦しい事があると思います。けど、それに負けず一歩一歩前進していきたいです。そして、いつもそばにいて支えてくれる人たちに感謝しながら、いつも明るく笑顔で何事もおそれずがんばっていきたいです。



No.59